# 令和元年度中間貯蔵施設事業に係るモニタリング調査の結果について

令和2年8月31日

福島県生活環境部中間貯蔵施設等対策室

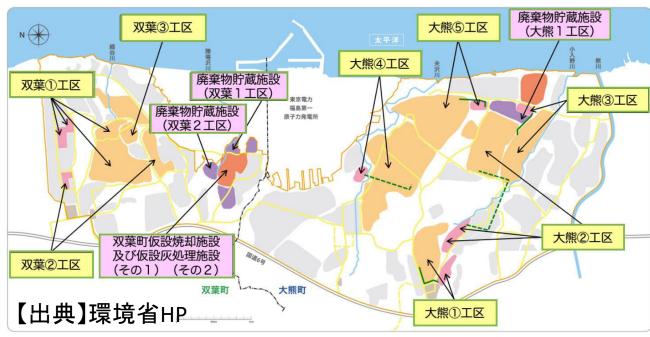
### 調査の概要(1)

#### 〇調査の目的

国が実施する中間貯蔵施設事業に関して、「中間貯蔵施設の周辺地域の安全確保等に関する協定書」に基づき、空間線量率、大気(大気浮遊じん)、水の環境放射能等を測定し、事業の安全性を確認するもの。

### 調査の概要(2)

#### 〇放射能等調査



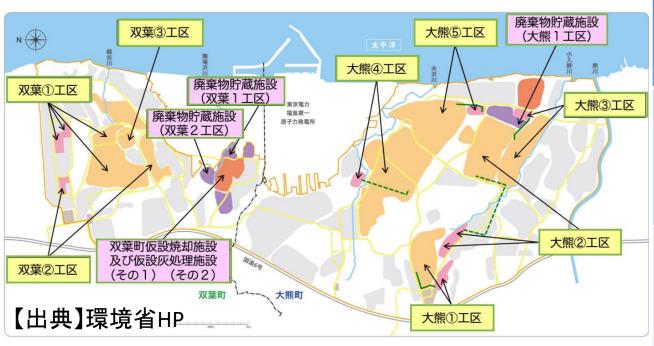
中間貯蔵施設内の各施設の地下水等や河川の下流域中間貯蔵施設との敷地境界及び輸送路について調査する

調査項目
空間線量率 大気浮遊じん中の放射能濃度
空間線量率
河川水中の放射能濃度
地下水中の放射能濃度
地下水中の放射能濃度
地下水中の放射能濃度 シート下部湧水中の放射能濃度 放流水中の放射能濃度
排ガス中の放射能濃度

※輸送路はR元年度から、調査場所を浪江町役場から浪江町地域スポーツセンターへ変更した。 3

### 調査の概要(3)

#### 〇環境調査



調査対象	調査項目
輸送路※	大気質(NOx、SPM) 騒音・振動
土壌貯蔵施設	放流水中の有害物質等

中間貯蔵施設内の各施設の放流水輸送路について調査する

※輸送路はR元年度から、調査場所を浪江町役場から浪江町地域スポーツセンターへ変更した。 4

# 調査の概要(4)

### 〇調査件数 中間貯蔵施設敷地内

調査項目	調査回	調査地点数 (大熊工区内)	調査地点数 (双葉工区内)
地下水中の放射能濃度	1回目	11	6
地下水中切成剂配减及	2回目	9	8
シート下部湧水中の	1回目	5	3
放射能濃度	2回目	6	3
おおからのおものも	1回目	4	3
放流水中の放射能濃度	2回目	4	3
おおとれの方字物を生	1回目	4	3
放流水中の有害物質等	2回目	_	—
減容化施設の排ガスの	1回目	1	_
放射能濃度	2回目	<del>_</del>	_

## 調査の概要(5)

#### 〇調査件数

中間貯蔵施設敷地境界•敷地外

調査項目	調査回	中間貯蔵施設敷地境界	輸送路(浪江町 地域スポーツセ ンター)	下流河川
空間線量率	1•2回目	2	1	_
大気浮遊じん中の 放射能濃度	1•2回目	2	_	_
大気質(NOx、SPM)	1回目	_	1	_
騒音•振動	1回目	_	1	_
河川水中の放射能濃度	1•2回目	_	_	5

### 調査結果の概要(1)

#### 〇空間線量率

単位: μSv/h

測定地点	測定結果	環境省の令和元年度モニタリン グ結果	県のH30年度モニタリング結果
敷地境界	0. 32 ~ 1. 31	0. 30 ~ 2. 72	0.49 ~ 2.28
輸送路(浪江町地域スポーツセンター)	0. 14		

- ・敷地境界の空間線量率は、H30年度よりも低い値となった。
- ・輸送路はR元年度から、調査場所を浪江町役場から変更した。 H30年度の結果(0.12-0.13 μSv/h)と比較すると同程度であった。

### 調査結果の概要(2)

### ○大気浮遊じん放射能濃度(セシウム-134+セシウム-137)

単位:mBq/m³

測定地点	測定結果	環境省の令和元年度モニタ リング結果	県のH30年度モニタリン グ結果
敷地境界	不検出 ~ 2.1 (検出下限値:1)	不検出 ~ 1.68 (検出下限値:1)	不検出 ~ 2.8 (検出下限値:1~3)
敷地内(参考) 【出典】原子力発電所周 辺環境放射能測定結果 (県危機管理部)	O. 15 ~ 2. 56 (検出下限値: 0.01~0.1)		O. 098 ~ 3. 65 (検出下限値: 0.01~0.1)

#### 全て基準超過なし

(基準値(濃度限界): セシウム-134濃度(Bq/m³)/20 + セシウム-137濃度(Bq/m³)/30 ≦ 1)

### 調査結果の概要(3)

#### 〇大気浮遊じん放射能濃度の測定地点

双葉町陳場下交差点



大熊町東大和久交差点



### 調査結果の概要(4)

#### 〇輸送路のモニタリング結果

(1)騒音•振動

測定地点	測定結果	県のH30年度調査結果 ※	環境基準等(参考)
輸送路	等価騒音レベル	等価騒音レベル	70dB
浪江町地域ス	62.2 <b>~</b> 65.7 dB	63.9 ~ 68.3 dB	
ポーツセン	振動レベル	振動レベル	65dB(第一種区域)
ター	38.6 <b>~</b> 52.4 dB	46.0 <b>~</b> 52.3 dB	70dB(第二種区域)

※輸送路はR元年度から、調査場所を浪江町役場から変更した。 H30年度の結果と比較すると同程度であった。

### 調査結果の概要(5)

### 〇輸送路のモニタリング結果

(2)大気質

調査対象	項目	測定値の範囲	H30年度結果 ※	基準値等
二酸化窒素	1日平均值(ppm)	0.002 ~ 0.007	0.002 ~ 0.014	【環境基準】
(NO <sub>2</sub> )	1時間の最大値(ppm)	0.005 ~ 0.028	0.004 ~ 0.025	0.04~0.06ppm、又はそれ以下
一酸化窒素	1日平均值(ppm)	0.000 ~ 0.003	0.001 ~ 0.007	【H30年度大気測定局舎(8局)】 1日平均値の最高値:0.002~0.028ppm 1時間値の最高値:0.010~0.103ppm
(NO)	1時間の最大値(ppm)	0.003 ~ 0.051	0.002 ~ 0.023	
浮遊粒子状	1日平均值(mg/m³)	0.001 ~ 0.007	0.005 ~ 0.017	【環境基準】 1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以
物質(SPM)	1時間の最大値(mg/m³)	0.004 ~ 0.019	0.009 ~ 0.024	下かつ1時間値が0.20mg/m³以下

※輸送路はR元年度から、調査場所を浪江町役場から変更した。

### 調査結果の概要(6)

#### 〇輸送路の測定地点

#### 浪江町地域スポーツセンター





### 調査結果の概要(7)

○河川水中の放射能濃度(セシウム-134+セシウム-137)ND ~3. 4 Bq/L (検出下限値 1 Bq/L)

平成30年度県モニタリング結果 不検出 ~ 5.6 Bq/L (検出下限値:1 Bq/L) 令和元年度環境省モニタリング結果 不検出~1.8 Bq/L (検出下限値: 1 Bq/L)

### 調査結果の概要(8)

〇地下水中の放射能濃度(セシウム-134+セシウム-137)

全て不検出 (検出下限値 1Bq/L)

平成30年度県モニタリング結果 全て不検出 (検出下限値:1 Bq/L) 令和元年度環境省モニタリング結果 全て不検出 (検出下限値:1 Bq/L)

### 調査結果の概要(9)

#### 〇土壌貯蔵施設の放流水

(1)放射能濃度(セシウム-134+セシウム-137) 全て不検出 (検出下限値 1 Bq/L)

#### 全て基準超過なし

(基準値(濃度限界): セシウム-134濃度(Bq/L)/60 + セシウム-137濃度(Bq/L)/90 ≦ 1)

平成30年度県モニタリング結果 不検出 ~ 0.85 Bq/L (検出下限値:1 Bq/L) 令和元年度環境省モニタリング結果 不検出 (検出下限値:1 Bq/L)

### 調査結果の概要(10)

- 〇土壌貯蔵施設の放流水
  - (2)有害物質等

全て基準超過なし (基準値:「中間貯蔵施設に係る指針」による基準)

平成30年度県モニタリング結果全て基準超過なし

令和元年度環境省モニタリング結果 基準超過なし

### 調査結果の概要(11)

### 〇排ガス(セシウム134+セシウム-137)

単位:Bq/m³

測定地点			環境省の令和元年度モニタリング 結果
大熊町仮設焼却	ろ紙部	不検出 (検出下限値:2)	不検出
施設	記設 ドレン部	不検出 (検出下限値:2)	(検出下限値:4)

#### 基準超過なし

(基準値(濃度限界): セシウム-134濃度(Bq/m³)/20 + セシウム-137濃度(Bq/m³)/30 ≦ 1)

※平成30年度は県で実施せず